

平成26年度当初予算の概要

平成26年度予算が、平成26年第1回町議会定例会で可決され、一般会計など3つの会計が執行されることとなりました。平成26年度当初予算の概要を次のとおり紹介します。

東川町の平成26年度予算は、一般会計が66億100万円の前年度当初予算と比較して13億6,500万円、26.1%増、特別会計総額では、国民健康保険会計及び簡易水道事業会計の廃止に伴い、5億1,480万円の前年度比較4,340万5千円、7.8%減となりました。一般会計と特別会計の合計では71億1,580万円(前年度比較13億2,159万5千円、22.8%増)となりました。

●一般会計 税金などを主な収入とする町の基本的な事業予算

●特別会計 下水道等の使用料など、特定の収入で行う事業予算

■一般会計・特別会計当初予算額

単位:千円

会計区分	本年度(H26)	前年度(H25)	伸び率%
一般会計	6,601,000	5,236,000	26.07
国民健康保険(廃止)	0	105	皆減
簡易水道事業(廃止)	0	41,100	皆減
公共下水道事業	170,900	163,700	4.40
国保町立診療所	343,900	353,300	▲ 2.66
特別会計(合計)	514,800	558,205	▲ 7.78
総合計	7,115,800	5,794,205	22.81

■一般会計における予算の特徴

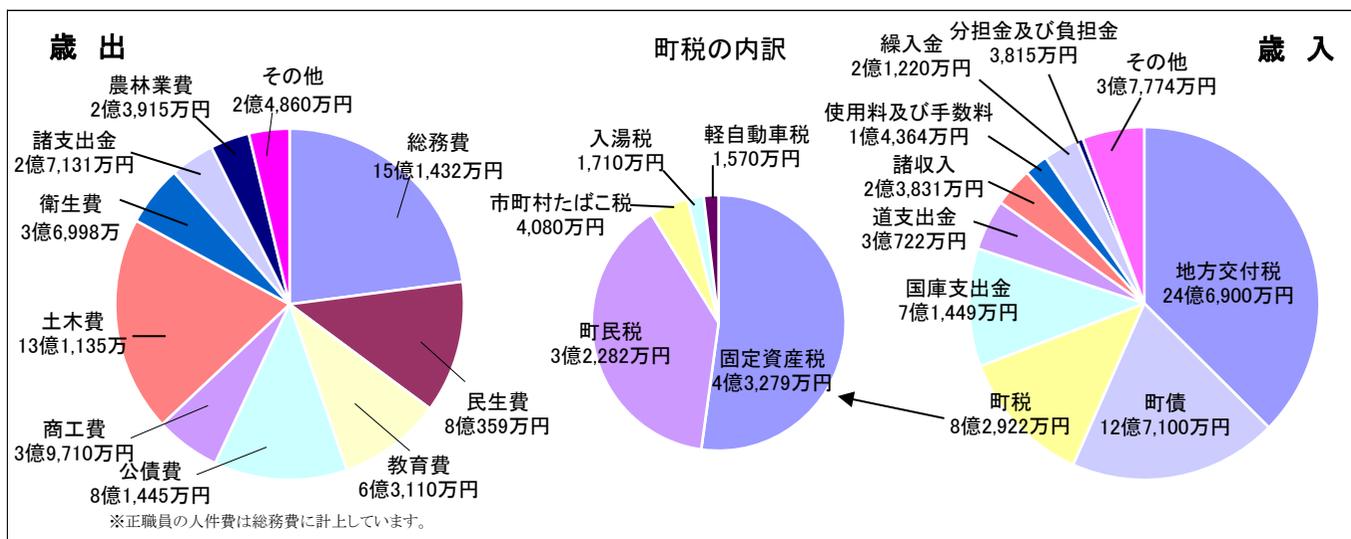
平成26年度の当初予算は、66億100万円であり、平成25年度の予算額と比べますと、13億6,500万円、26.1%増となりました。予算編成では、「新まちづくり計画プライムタウン21-II」の2年度目にあたり、実施計画に沿った事業の展開を図ることとし、毎年度に行う5カ年間の財政推計により適正な運営に努めているところです。

地方交付税は、地方財政計画では0.2兆円の減額があるなど、1.0%の減となりますが、本町における普通交付税の予算額は、辺地債や緊防債の有利な起債による補てん額があるため、平成25年度決定額と比較すると3,600万円、17.0%の増を見込んでいます。

投資的事業では、対前年比で9億9,877万円、114.7%の増となりますが、東川小学校関連整備事業などで、国・道補助金やその他財源の確保・交付税補てんのある起債を充当するなど特定財源の確保に努めました。

また、ソフト事業では、「写真の町」ひがしかわ株主事業、英語教育や国際交流及び留学生支援事業の充実を図ることに重点をおいた事業費を計上しています。

■一般会計当初予算の構成比



■平成26年度の主な投資事業

【投資的事業】

- 特定地区公園事業451,800 (社会資本整備交付金)
- 西5号道路改良事業120,000 (社会資本整備交付金)
- 西3号道路改良事業83,000 (社会資本整備交付金)
- 除雪トレーサ(13t級他)購入事業71,875 (社会資本整備交付金)
- 上岐登牛道路改良事業158,000 (辺地債事業)
- 第三小教員住宅新築事業28,300 (辺地債事業)
- 阿波団体道路改良事業57,000 (辺地債事業)
- 防犯灯省エネLED化整備事業35,521 (地域活性化事業債事業)
- おかの森林公園家族旅行村整備事業87,102 (辺地債事業)
- 北団地ストック総合改善事業90,000 (公営住宅債事業)